

まば彼れ將た何くにか往かん。生を求むる者を死に致すは不仁なり』と。是に於て廷議其の降を納れ、各酋長等を熱河に召し、渥巴錫を汗に、其の弟を親王に封し、他は郡王、具勒、具子、公、臺吉等と爲すこと各差あり。

清廷は又其の降を容るゝと共に、彼等を新舊の二部に分ち、各札薩克チヤサクを設け、官牧の牛馬羊十四萬、官茶二萬封、米麥四萬餘石を發し、且つ羊裘五萬餘襲、布六萬餘匹、棉六萬餘斤、氈幕四萬餘を購せしめ、共に帑金二十萬餘を靡せりと。而して之を喀喇沙爾管内の著勒都斯、及北路の西湖、精河并に阿爾泰山の西方に游牧せしむ、是れ現時吐爾扈特族の祖先なりとす。

## 和碩特族

和碩特ホシヨトは其の殘族僅に三百餘戶、吐爾扈特汗王に屬して、喀喇沙爾の山野に游牧す。吐爾扈特族其他の蒙古族は、一般に蒙古語を使用するも多少訛あり。又た文字も同様蒙古字なるも之を知る者少し、只喇嘛は能く蒙古字を解し、兼ねて西藏の言語文字に通ず。

## 蒙古と容貌

身體は概ね強壯なるも、敢て長大ならず。顔面は平扁にして、鼻低く、頬骨秀で、肌膚赤色を帶ぶ。性質は一般に順朴にして、勇武の點は哈薩克に比し大に劣るもの